

平成30年度 事業報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人ぽんぽん船

- ・第1回理事会
開催年月日 平成30年5月18日（金）
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
出席理事 9名（理事人数9名）
議決事項の概要
 - ・平成29年度事業報告及び活動計算報告について
 - ・平成30年度事業計画及び活動予算（案）について

- ・通常総会
開催年月日 平成30年5月26日（土）
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
出席会員 61名（うち表決委任者40名）／会員総数67名
議決事項の概要
 - ・平成29年度事業報告及び活動計算報告について
 - ・平成30年度事業計画及び活動予算（案）について
 - ・定款の一部変更について
 - ・役員の改選について

- ・第2回理事会
開催年月日 平成30年6月1日（金）
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
出席理事 9名（理事人数9名）
議決事項の概要
 - ・正副理事長の選任について
 - ・障がい者自立支援事業所ぽんぽん船運営委員の選出について

- ・第3回理事会
開催年月日 平成30年10月26日（金）
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
出席理事 9名（理事人数9名）
議決事項の概要
 - ・平成30年度積立基金の積み立てについて
 - ・車両の購入について

- ・第4回理事会
開催年月日 平成31年3月22日（金）
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
出席理事 9名（理事人数9名）
議決事項の概要
 - ・指定特定相談支援事業者運営規程の一部改正について
 - ・特定非営利活動法人ぽんぽん船就業規則の一部改正について
 - ・平成31年度事業計画及び活動予算（案）について

1 事業の成果

「障がい者自立支援事業を中心に、障がいのある方の自立した日常生活、社会生活の支援を行い、ノーマライゼーションの町づくりを推進する」という本法人の目的に沿い、下記事業を実施した。

①【障がい福祉サービス事業】

障がい者の就労支援として、日中活動の場・就職に向けての総合的な訓練の場となるよう、個々に合った働き方を提供していくため、事業所の中での作業だけではなく、外部との関わりも大切にしながら、地域の企業や農業関係者等と連携して、多様な職種に取り組んできた。

[菓子製造]

型から手作りのオリジナルクッキーとフードプリンターによるプリントクッキー、両方を組み合わせてのクッキー等、デザイン・予算ともに、顧客のニーズにあった商品を提案・提供することで、常連客の他、新たな注文も増加し続けている。プリントクッキーが周知されたことで客層にも広がりがみられ、注文が増えている。

個別注文の他、10店舗で販売しているが、店舗ごとの売上状況を把握し、欠品のないよう計画的に製造・納品することで売上が大幅にアップしている。また、クッキーの飾りつけや生地づくり等、利用者一人ひとりが新たな作業に挑戦してレベルアップするとともに、治工具等を工夫したり、作業環境を改善することでスピードアップにもつながっている。

(株)多伎振興からの依頼でコラボ商品づくりに取り組み、3月17日より販売を開始した。地域と連携した付加価値の高い商品づくりや販路拡大による、安定した作業量・作業収益の確保が工賃向上につながっている。

[農作業（農福連携事業）]

平成25年度から3年間、島根県「障がい福祉と農業との連携促進事業（農福連携事業）」の中の「障がい者に適した作業改善、就労形態の実証研究」として、島根県農業技術センターにおいてモデル事業を実施してきた。この実証研究の一環として、平成27年度より地域の農家と契約をし、ぶどうハウスでの作業を実施してきた。平成27年度は1軒の農家での実施であったが、ていねいで正確な作業が評価され、平成28年度は4軒、H29年度は6軒、H30年度は7軒のぶどう農家での作業に取り組んだ。

同じ作業でも、農家によって手法が異なる場合があるが、専門的な作業をよく理解し、各農家の要望に沿った作業を行うことができた。また、経験の積み重ねにより技術・スピードともにアップしている。H30年度は、農家の都合で出荷作業は行わなかったため、収入は減となっているが、ぶどう農家からの期待は大きく、年度内に複数の農家から次年度の作業予約が入っている。農家や関係者から評価・期待されることは、利用者・職員の励みとなっている。

平成21年度から実施してきた農福連携事業は、先進的な取り組みとして全国的にも高く評価されており、農林水産省による「農福連携の取組拡大に向けた検討会」への参加、農林水産省の実践事例集への掲載、島根県県民いきいき活動奨励賞の受賞へとつながっている。

[清掃業務]

出雲市より、田儀農村広場・シーサイド公園のトイレ清掃業務を継続して請負い、年間を通して安定した作業となっている。また、社会福祉法人多伎の郷 認知症グループホーム はなんばの里の清掃業務は、マナーや清掃の手順・技術を身につけ、短時間ではあるが週4日の安定した作業となっている。新たな利用者にも参加していただき、施設外就労を通して地域の方と関わり、交流をするとともに、適度な緊張感を持ちながら作業を行うことで、社会の中で働く力を身につけていく訓練の場にもなっている。

[請負作業]

ナカバヤシの作業を中心に取り組む。複数の作業を年間通して行い、また、治工具等を工夫することで、より多くの利用者が作業に関わることができた。その他、かみありづき・出雲市等、複数の請負作業も継続して行ってきたが、確実・丁寧な作業を評価され、安定した作業量を確保できている。

[アルミ缶リサイクル]

地域住民をはじめとし、(株)多伎振興・(株)三笠産業等、地域の企業のみなさまのご協力により、過去最高の量のアルミ缶をリサイクルすることができた。缶の引取り価格の引下げはあったが、量が多かったことでカバーし、安定した作業収益の確保につながっている。

②【相談支援事業】

福祉サービス等を利用しながら、自宅での安定した地域生活が継続できるよう、本人のニーズと社会資源等の連絡・調整等を行うため、相談支援事業に取り組んできた。旧出雲市・大社町・多伎町の障がい児6名・障がい者1名の相談支援を担当し、関係機関と連携しながら安定した地域生活が継続できるよう支援してきた。

③【地域生活支援事業】

日中一時支援事業を実施。地理的な条件等により、平成30年度の利用希望はなかったが、長期休暇中の充実した活動支援・家族の負担軽減等、今後も地域のニーズに応えることができるよう事業を継続していく方向である。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 単位(千円)
①障がい福祉サービス事業	就労継続支援B型	通年	障がい者自立支援事業所 ぽんぽん船	6名	24名	38,125
②相談支援事業	指定特定相談支援事業	通年	障がい者自立支援事業所 ぽんぽん船	1名	7名	1,235
③地域生活支援事業	日中一時支援事業	随時	障がい者自立支援事業所 ぽんぽん船	0名	0名	0